

サボテンの育て方

●水やり

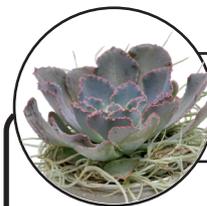
- ・水の与えすぎによる根腐れで枯らしてしまうケースが多いので、乾燥気味に育てます。水やりは霧吹きなどで植物の根元に水をかけてあげてください。春～秋は1週間に1回程度、冬は1ヶ月に1回程度を目安となります。サボテンにシワが入ってきたり痩せて縮んできたら水が不足しています。水やりの回数を増やして調整してください。
- ・水を与える時はたっぷりと、植物に直接与えてください。(霧吹きの場合もたっぷり)砂の表面が固めてある商品は水をかけると、表面の糊が溶け一時的に崩れ易くなるのでご注意ください。※乾くとまた固まります。

●置き場所

- ・明るい場所で管理してください。(夏場に直射日光が長時間当たる場所は避けてください)光量が不足すると徒長の原因になります。
- ・冷暖房の風が直接あたる場所は極度に乾燥するので避けてください。
- ・冬場の窓際は夜冷え込むので、窓際から少し離して管理してください。

●日常の管理

- ・砂の表面が固めてある商品について、サボテンと砂との間に隙間が出来た場合は、その部分の砂を湿らせ柔らかくし、軽く押さえると隙間を埋められます。
- ・サボテンは元々やせた土地に生えている植物なので、あまり肥料を必要としません。



多肉植物の育て方

●水やり

- ・水の与えすぎは根腐れの原因になるので注意してください。霧吹きの場合は1週間に1回程度、水差しの場合春～秋は用土が乾いたら、冬は1か月に1回程度たっぷりとあげるようにします。カラーサンド等で表面を固めているものは、用土が乾いているのか確認できません。多肉植物は水分が少なくなると葉にしわがよってきますので、しわがよってきたら水をたっぷり与えるという方法でも問題ありません。

●置き場所

- ・なるべく明るい場所で管理してください。(直射日光が長時間当たる場所は避けてください)光量が不足すると葉の色が悪くなったり、徒長の原因になります。
- ・冷暖房の風が直接あたる場所は極度に乾燥するので避けてください。
- ・冬場の窓際は夜冷え込むので、窓際から少し離して管理してください。

●日常の管理

- ・伸びてバランスが悪くなった枝は、定期的にハサミ等で切ると見た目も良くなります。切り口から新しい芽が生えてきますが、多肉植物の生長はゆっくりなので元の大きさに戻るのにはかなり時間がかかります。切った穂は切り口を2～3日乾かしてから肥料分のない土に挿し木すると2～3週間後には根が出て増やすことができます。(根が出にくい品種もあります)
- ・品種にもよりますが、冬場の寒くなってくる時期に葉の縁や全体が紅葉し、葉色が美しく鮮やかになります。(光量が少ないと紅葉した葉の色は戻ってしまいます)
- ・多肉植物は特に肥料を与えなくても大丈夫です。肥料を与えてしまうと徒長の原因や紅葉しないこともありますのでご注意ください。
- ・病気や害虫の対処は早期発見が重要です。定期的に観察するように心がけてください。

